

英米文化研究 IV (その2)

2 単位 2 年 (後期), 3 年 (後期)

前田 一平・非常勤講師 / 鳴門教育大学, 山田 仁子・准教授 / 人間文化学科

【授業目的】 アメリカ文学入門。まずは、英語で書かれた文学作品を原書で読む喜びを感受し、同時に物語を解釈しながら辞書を頼りに地道に読み進める辛さも経験してもらう授業とする。基本的な批評方法を紹介することによって、文学解釈も導入する。英語をじっくり読むことによって、英語読解力をつけることは本授業の目的の主要な要素なので、速読ではなくあえて「スロー・リーディング」を実践します。

【授業概要】 Ernest Hemingway 著 In Our Time を読む。この本は短編集なので、基本的には 1 篇の作品を 2 回の授業で読みきる予定で進める。物語の内容と文脈を理解した和訳を実施し、受講生と議論を交わしながらの「スロー・リーディング」を実施する。批評上のキーワードはイニシエーション、ジェンダー、セクシュアリティである。

【キーワード】 アメリカ、文学、ジェンダー、セクシュアリティ、スロー・リーディング、アーネスト・ヘミングウェイ

【先行科目】 『英米文化研究 IV (その1)』 (1.0)

【関連科目】 『英米文化研究 IV (その1)』 (1.0)

【履修上の注意】 みずから原書を地道に読む習慣づけを心がけてください。英語を読む力はそこから始まります。原書を読む喜びと苦しみ、そして読破したときの達成感を味わって欲しい。よって、「私自身の」物語理解にひそかに、しかも、じっくりと向き合う姿勢をもって授業に臨んでいただきたい。

【到達目標】 まずは、英語の原書を読む力と自信をつけること。それに加えて、思考力と想像力と感性を駆使して物語を理解する姿勢を身につけることを目標とする。

【授業計画】

1. イントロダクション
2. “Indian Camp” 前半
3. “Indian Camp” 後半
4. “The Doctor and the Doctor’s Wife” 前半
5. “The Doctor and the Doctor’s Wife” 後半
6. “The End of Something” 前半
7. “The End of Something” 後半
8. “A Very Short Story”
9. “Soldier’s Home” 前半
10. “Soldier’s Home” 後半

11. “Mr. and Mrs. Elliot” 前半

12. “Mr. and Mrs. Elliot” 後半

13. “Cat in the Rain” 前半

14. “Cat in the Rain” 後半

15. 学期末試験

16. 総括授業

【成績評価】 ディスカッションへの参加および講読担当時の理解を中心とした授業への貢献度 (20%) と学期末試験あるいはペーパー (80%) の評価による。

【再試験】 実施しません。

【教科書】 Ernest Hemingway, In Our Time (Scribners)(教員が教室で販売する)

【参考書】 授業中に指示する。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218398>

【連絡先】

⇒ 研究室:鳴門教育大学人文棟A309,電話:088-687-6347,E-メール:kmaeda@naruto-u.ac.jp (オフィスアワー: 遠距離なので、オフィスアワーを利用することは不可能と思える。ただし、相談には応じるし、E-メールでの相談・指導は時間を問わず可能である。)

⇒ 山田 (hitokoy@yahoo.co.jp) MAIL (オフィスアワー: 木曜日 10:20~11:20)

【備考】 この授業科目は 8 単位まで履修することができます。